

令和2年度 事務事業評価シート (H31実績評価)

事務事業名		2672	玉戸・一本松線整備事業		重点プロジェクト		2		
担当所属		450500	土木部 土木課						
予算科目	R2	1-080203	一般会計 - 土木費・道路橋梁費・道路新設改良費						
	H31	1-080203	一般会計 - 土木費・道路橋梁費・道路新設改良費						
施策	基本構想	02	2 あらゆる世代が快適に暮らせる安心都市づくり						
	政策	03	3 快適に暮らせる生活基盤づくり						
	施策	08	8 道路網の整備						
	基本施策	02	(2) 幹線道路の整備(都市計画道路など)の整備等						
事業類型	(ハード系) 建設整備事業		評価対象	■	経費区分	施策経費	支出区分	負担金	無
副施策	1	-	2	-	実計対象	■		補助金・交付金	無

事務事業の概要 記入者 小島裕司 内線 20-1173

事業期間	期間限定	平成 30 年度 ~ 令和 6 年度	対象	市民
法令	有	都市計画法	例規	無

関連計画等

事業の目的
この事業によって対象をどのようにしたいのか
本線は、筑西市建設計画の中で、市の中心を迂回する「内環状線」の役割を担う重要な路線として位置づけられており、市民生活や産業活動を支える基盤として、市内移動を円滑にするために整備するものである。

事業の内容	具体的な事務事業の内容、手法、手順	都市計画道路 3. 4. 49号 玉戸・一本松線 (H12. 4. 10告示) 計画延長 L=2, 030m 事業区間 L=1, 530m 道路幅員 W=16m
	31年度事業実績	基本設計業務(道路予備設計L=1, 530m、橋梁予備設計1橋) 地質調査業務(道路部、跨線橋部、橋梁部) 土地鑑定評価業務 補償調査業務 用地買収

事業費の内訳 (千円)

		総事業費	平成30年度 実績		平成31年度 実績		令和2年度 予算	
事業費	財源内訳	国庫支出金	0	0	7,260	117,150		
		県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	13,500	105,300		
		その他	0	0	0	0		
		差引：一般財源	0	19,904	30,438	5,332		
事業費計(A)		0	19,904	51,198	227,782			
人件費	従事職員数(人) [正規：臨時嘱託]	1.70	0.00	2.05	0.00			
	人件費(B) [正規：臨時嘱託]	13,901	0	17,148	0			
フルコスト(C) = (A) + (B)			33,805	68,346				

指標の推移

活動指標 1	指標名	道路改良工事				単位	m
	目標値	2,030	目標年度		目指す方向	↑	
	考え方・式等						
	年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	達成率(%)	令和2年度見込	
実績		0	0	0.0	0		
活動指標 2	指標名	用地買収				単位	m ²
	目標値	32,480	目標年度		目指す方向	↑	
	考え方・式等						
	年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	達成率(%)	令和2年度見込	
実績		0	277	0.9	10,000		
成果指標 3	指標名	道路整備延長				単位	m
	目標値	2,030	目標年度		目指す方向	↑	
	考え方・式等						
	年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	達成率(%)	令和2年度見込	
実績		0	0	0.0	0		
目標に対する達成状況の評価	令和元年度より事業着手し、路線測量、地質調査及び基本設計を行ない一部用地買収を開始しており、事業の完成を目指す。						

状況の変化等

社会情勢の変化	筑西市建設計画の中で、内環状線を担う重要な路線となっている。		
市民等からの意見・要望	市内移動を円滑にするため、早期の完成が望まれている。		
市以外での類似事業	● 無	○ 有	→ □ 国 □ 県 □ 民間 □ その他
	実施機関名		事業名

結果評価

評価の観点	
評価内容	評価結果
目的の妥当性	
1. 事務事業の目的は、総合計画の施策目標に合致しているか。	合致している
2. 市が主体的に行うべき役割の事業か。	行うべき事業である
3. 市民ニーズ等を反映しているか。	反映している
4. 特定の個人や団体に受益が偏っていないか。	偏っていない
5. 市民との役割分担は適切か。	適切である
事業の有効性	
1. 類似事業との再編や統合はできないか。	できない
2. 成果を向上させる余地はないか。	ない
3. 廃止・休止した場合の影響はあるか。	影響がある（大）
事業の効率性	
1. 成果を落とさずに事業費を削減できる余地はないか。	ない
2. 成果を落とさずに人件費を削減できる余地はないか。	ない
3. 受益者の費用負担や受益機会に適正化の余地はないか。	ない
事業の現状・担当コメント (評価に対する課題等)	早急な事業完了に向け、取り組んでいきたい。

課長評価

課長意見	本路線は、筑西市の中心部に位置した幹線道路であり、市街地内環状線として位置付けている都市計画道路である。そのため、市街地の混雑を緩和し安全で安心な交通環境の実現と立地企業の生産性の向上などによる地域活性化が期待されることから早急な整備が必要となっている。
来年度の事業の方向性	拡充
改善策	内容 今後、逼迫した財政状況が予想される中、早急な事業推進が求められていることから、引き続き、国への要望活動を実施し、交付金等の財源確保に努めたい。
	改善の期間 令和3年度